

# アカゲラ通信

2017年12月号  
(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所



## 「レストハウス」平成29年度営業終了しました

「レストハウス」平成29年度の営業は11月5日(日)をもって終了しました。

今年も皆様のご愛顧いただきありがとうございました。

来年度は4月20日過ぎのオープン予定です。

なお今年度は冬の間も自動販売機を設置しております、ぜひご利用ください。

## 「日本新三大夜景」の街札幌と旭山記念公園「スノーキャンドル」

2015年、(一社)夜景観光・コンベンション・ビューローが発表した日本の夜景ランキングにおいて、札幌市は長崎市に次ぐ第2位となり、3位の神戸市を含め3都市が「日本新三大夜景」と認定されました。

札幌市の夜景は光が多くてきれいなこと、夜景を楽しめる場所が多いことなどが評価されました。

おすすめ夜景スポットとして、藻岩山、大倉山、JRタワー、テレビ塔、ノルベサ等とともに旭山記念公園も挙げられています。

また旭山記念公園は、それとは別の民間団体が選定する「日本夜景遺産」の中の「自然夜景遺産」にも選出されています。

札幌市民には古くから知られ、多くの人が訪れている旭山記念公園もこれで、夜景スポットとして日本中、世界中に広く知られることとなるでしょう。

もう10年以上前のことですが、公園再整備計画の一環として行われていたワークショップの際に、旭山記念公園の夜景の魅力を分析した人がいました。

その方は、旭山記念公園の夜景の魅力は、街の明かりが手に取るように近くに感じられ親しみやすいことだと結論付けていました。

なるほど、確かにスケール感なら藻岩山にかなわないけれど、身近に感じられる旭山の夜景は訪れる人をなんだかほっこりさせるものがあるのではないか。



2016年の「スノーキャンドル」は夜景と月とのコラボでした。

### ◎ 2018年1月20日(土)「スノーキャンドル」

旭山記念公園では毎年1月、夜景とのコラボを楽しめる「スノーキャンドル」のイベントも行っています。

元々1993年1月17日の阪神淡路大震災で犠牲になられた方々に哀悼の意を示すものとして全国各地で行われていたイベントです。

今年度も2018年1月20日(土)、レストハウスから展望台までをスノーキャンドルの炎で彩ります。

スノーキャンドルを自分で作って炎をともすこともできます。

ご希望の方は当日14時に森の家にお越しください。

また、キャンドルは17時に点灯の予定ですが、キャンドルの炎を眺めたい、写真を撮りたいという方は17時頃以降に展望台にお越しください。



詳細はホームページにて後日発表いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

## 「旭山野鳥観察会」の予定

●次の「旭山野鳥観察会」が1月13日(土)開催となっています。

朝8時「森の家」集合 参加費100円(保険代) 小雪決行、みなさまのご参加をお待ちしております!

※冬には「スノーシュー観察会」を2~4回ほど予定、詳細は後日発表いたします。

# 2017年11月から12月の旭山野鳥情報

◎11月から12月にかけての旭山野鳥情報をまとめました。野鳥について詳しくは森の家までお尋ねください！

## ◎冬はシマエナガの季節

シマエナガは群れで行動する冬が観察のチャンス。

特に1月から2月にかけては旭山でも見られる機会が特に多い頃です。

森の家の周りによく出ますが、シマエナガ観察のポイントをまとめたA4の資料「旭山のシマエナガ」を森の家にて無料で配布中、シマエナガ観察や撮影の際の参考資料としてぜひお持ちください。

また、シマエナガが出た場所と時間をまとめた園内マップを森の家掲示板にて掲出中、基本毎週更新してゆきます。

## ◎冬から春に見られる野鳥の動き

★ヒレンジャク、キレンジャク=12月に入り一時ヒレンジャク50羽前後の群れが数日間見られ、そこに2、3羽のキレンジャクも混じっていました。12/17現在20羽前後の群れがまだ旭山周辺にとどまっています。

ヒレンジャクは例年1月上旬まで見られますが、キレンジャクは年により動きが違います。

★ノスリ(右写真上から2枚目)=この秋旭山に幼鳥1羽がいついています。第一駐車場から森の家の辺りで目撃情報が多く、時々カラスに追い立てられています。ノスリは例年旭山では冬にはめったみ見られないですが、今年は動向に注目です。

★キクイタダキ=今年は見られる機会が多く、風の丘近くの針葉樹と展望台南側の針葉樹に比較的よく来ます。旭山では冬期間例年3月いっぱい見られます。

★ウソ(同3枚目)=園内で声はよく聞かれますが近くで姿を見られる機会はまだ少ないです。

★マヒワ=7、8羽の群れが旭山周辺に居ついており「ジュリーン」という声は割とよく聞かれますが、あまり低い場所に降りて来ないため姿を見る機会はすくないです。

★イスカ=この冬は11月に2回12月に1回数羽の群れが観察されました。通過のみだったようですがそれぞれ1、2日で見られなくなりました。

★ツグミ=11月下旬に一時増えましたが今は数羽が辺りにいるだけのようです。

★カケス(亞種ミヤマカケス)=11月中は近くで姿を見る機会が多かったですが、12月に入り1日声をまったく聞かない日も出てきました。

## ◎1年中見られる鳥=留鳥の動き

★クマゲラ(同4枚目)=12月に入り公園内の目撃例が増えています。

例年冬の間は比較的よく姿が見られますがこの冬はどうでしょうか。

★ヤマゲラ=声はほぼ毎日聞かれ園内で姿を見られることも増えてきました。

★オオアカゲラ=冬の間は園内で姿を見る機会が多くなる鳥です。

★ハシブトガラ、ヒガラ=早くも囀りを始めました。例年より半月ほど早いです。

※その他カラ類、アカゲラ、コゲラ、ヒヨドリはいつでもよく見られます。



## この冬こそ樹木の「冬芽」にチャレンジ！

秋になり落葉広葉樹が葉を落とすと、「冬芽」が見えるようになります。

「冬芽」は樹木の種類により形が違うため、「冬芽」で木が分かります。

羊、兔、豆、爪…「冬芽」はいろいろなものの形に見えます。

この冬、樹木の「冬芽」にチャレンジしてみませんか？

旭山記念公園森の家では「冬芽」が分かるプリントを作成中です。

歩きながらの「冬芽」観察の参考になればと思います。

「冬芽」が分かると冬の野外観察の楽しみがひとつ増えますよ。



## 編集後記

2018(平成30)年1月1日元日も例年通り5時駐車場開門します。

駐車場は入場制限が行われますが、その際には警備員の指示に従い、近隣の迷惑になるため路上駐車は絶対にしないようお願ひいたします。

※2017年は残念ながら初日の出は拝めませんでした(右写真)。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第49号 2017(平成29)年12月17日発行

発行：(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所：〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先：電話011-200-0311 (土・日・祝日10時~16時) FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>